

## 第二回 富丘連合町内会常任理事会開催

### — 「コロナ禍」における地域活動のあり方を再検討 —

令和2年11月16日(月)午前10時から、第二回『富丘連合町内会常任理事会』が富丘西宮の沢会館において開催され、会長、副会長、事務局長、常任理事の計10名が出席しました。

はじめに久瀧洲一会长から、「前回常任理事会を開催したときは、新型コロナウイルス感染症への対応の目安は、〔警戒ステージ1〕でした。ところが、感染者は日々増大し、それに伴って〔警戒ステージ3〕に上がり、その後、つい

に札幌市のみが〔警戒ステージ4〕相当であると指定されました。こうした変化に連合町内会はどう対応していくべきか。年末・年始の事業の考え方、感染防止への取り組み方を今一度協議する必要があると判断し、緊急招集となりました」と挨拶があり、以下の件について真剣に話し合いました。

【1】11月以降の富丘連合町内会の主催行事の見通し⇒各町内会・自治会へ先に連絡したとおり、全て中止とします。なお、令和3年1月8日予定の「新年会」の開催有無については明らかにしていませんでした。この日、出席者全員からそれぞれが所属する町内会や自治会での飲食を伴う行事の状況を発表してもらったところ、「中止」、「中止で検討中」、「当初から計画がない」との回答があり、実施予定の単町はありませんでした。したがって、連合町内会も全員一致で「新年会」は中止と決定しました。ただし、感染症の収束状況によっては、12月に再度検討することとしました。また、手稲区連合町内会連絡協議会では「新年交礼会」を例年どおり実施する方向で考えているとのことでしたが、その後、中止が決定されました。

【2】会計部長の後任人事について⇒富丘連合町内会会計部長の逝去に伴う後任人事は、当会会則第6条に則り、役員選考規定の手順により進めることとしました。



常任委員会 (11/16)

## 富丘交通安全母の会が研修会を実施

10月2日(金)午前10時より富丘西宮の沢会館を会場に、富丘交通安全母の会(吉田佳寿子会長)の『研修会』が開かれました。富丘連合町内会内の各女性部長など20名の参加者は、マスク着用、手指消毒、相互の間隔を1mあけるなどのコロナ対策を徹底して研修に臨みました。



交通安全母の会 研修会 (10/2)

講師は手稲区交通安全運動推進委員会事務局長の西田幸二さん。手稲区で今年発生した死亡事故3件の状況や札幌市の最近の交通事故の様子などの説明に続き、①ながら運転の罰則強化、②あおり運転の厳罰化、③自転車運転と道路横断の注意、④反射材の活用、⑤万全な一時停止の方法などについて、資料を交えながら学習しました。

「これからやってくる冬季の路面の凍結に注意して、夜間は明るい服装と反射材の活用を心がけよう」と、交通事故防止への意識を互いに高め合う有意義な研修会となりました。

# COVID-19 流行下における町内会・自治会の先駆的取り組み事例

COVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大により、今年度は町内会・自治会の行事を中止せざるをえないところも多いと思います。そうした中でも「新北海道スタイル」に基づく札幌市の地域活動ガイドラインに沿ったさまざまな工夫を凝らしながら、事業を行った町内会や自治会がありました。今後の活動の参考となればと考え、取り組み事例を紹介します。

## 事例 1 ラジオ体操～サニータウン富丘自治会

『夏休み子供ラジオ体操』を実施しました。8月11日から18日の土日を除く6日間、のべ150人（子ども100人・大人50人）、一日あたり25人程度の参加でした。会場は「サニー見晴らし公園」（987㎡）。当初は中止の予定でしたが、屋外イベントであること、体操なら人との距離を十分確保でき密集は避けられると判断し、子どもたちの規則正しい生活を維持するため、さらに子どもたちからの要望もあったことをふまえて、開催に至りました。運営側として気を付けたことは、マスク着用と1m以上の距離をとること。これは参加者とも約束し、さらにアルコールによる手指の消毒も行わせました。出席確認・参加記録はシール貼付、ペン等の使い回しもしないように気を配りました。大人（役員等）は約束が守られているか見守りました。期間中はもとより、こんにちに至るまで、感染者は確認されていません。子どもたちも見守った大人たちも、たいへん喜び、最終日にはお土産をかかえて家へ帰って行きました。「やってよかった！」と思います。



## 事例 2 町内一斉清掃 ほか～富丘三樽別町内会

環境美化活動の一環として、6月上旬と9月下旬に『町内一斉清掃』を実施しました。従来は「富丘たにし公園」（524㎡）へ集合して挨拶や作業説明などを行っていましたが、今年度は“三密防止”の観点からごみ袋・軍手・飲み物をウォークスルー方式で配り（6月は消毒ジェルをプラス）、各自清掃後に決められた回収場所へごみ袋を置く方法を採用しました。もちろんマスク着用で、公園内にも消毒液を用意。参加者は両日とも幅広い年代の120余名で、作業中はソーシャルディスタンスを心掛け、その後、体調不良を訴える人はありませんでした。なお、「防災月間」に当たる9月の一斉清掃時には、参加者全員に手稲区より提供の災害時対応のチラシと非常用食品を配付し、啓発に努めました。



年二回の「町内一斉清掃」ではウォークスルーでごみ袋や軍手を配付



非日常のとき子どもたちのようすを知ろうと「こども夏まつり」を開催（いずれも富丘三樽別町内会）

また、8月下旬には『こども夏まつり』を催しました。これは例年、富丘小学校の駐車場などを会場に行っていたものですが、耐震工事にコロナ禍が重なって学校施設の使用がかなわず、「富丘たにし公園」での実施となりました。当初は中止も考えました。しかし、「非日常のときこそ子どもたちのようすを知ることが重要」との判断から、縮小開催を決定。来場時間は夕方から随時とし、マスク着用（町内会でも予備を用意）・コーナーごとの手指消毒・一方通行のウォークスルーという制約を設けました。一堂に会してのパフォーマー公演も花火もない、昨年度までとは異なるささやかな内容ではありましたが、町内在住の小学生と幼児60名（保護者等を含めると約90名）が来場し、“元気な笑顔”を見せてくれました。

コロナ禍においては、中高年が多く集う行事の開催は難しく、高齢者宅を訪問しての長時間の会話もできません。そこで今夏、70歳以上が居住する町内の100余世帯に対して、暑中見舞いのメッセージカード（町内会の関係役員の連絡先を併記）に手稲区交通安全運動推進委員会提供の啓発品を添えて、ポスティングしました。受け取った高齢者からは喜びの声が役員宅に寄せられ、非接触でも、ようすを確認できる方法のあることが認識できました。

### 事例 3 花植え事業～山の手町内会

例年 5 月から町内総出で行っていた 街路柵への花植え事業 — コロナ禍の今年は密集を避けるため一柵の担当を 2～3 人とし、マスク着用、おおよそ 1m の間隔をとりながら作業を実施しました。開始前には、参加者の体調を申告してもらいましたが、全員良好であり、途中で体調不良となる人も出ませんでした。また、消毒液も用意し、作業の前後には手指消毒を行いました。その後、感染の報告はありません。



### 事例 4 「敬老の日」事業ほか～富丘西三町内会

「敬老の日」の記念品を贈呈するにあたり、対象者と接触しないようにするためにはどうしたよいか、さまざま検討を重ねた結果、特別に現況を把握する必要がある対象者は訪問することとしましたが、ほとんどは記念品を郵送することで対応できました。

また、今年度の予算の執行状況に鑑みて、長期計画では毎年一箇所ずつ更新する予定だった ごみステーションの器材について 一挙に前倒しでできないか役員会で検討したところ、全て更新することが決まり、これによって従来からの懸案を解決することができました。さらに、パートナーシップ除雪経費の特別徴収についても、今年度は中止とすることにしました（富丘西三町内会では会費と別途に除雪経費を徴収）。

新型コロナの影響で 当初予定していた多くの計画ができなくなったことから、これまでの町内会の運営方法や今後の在り方について、じっくりと考える機会がうまれたように思います。

★ ★ ★

## 町内会・自治会の情報交換…総務部長会議 開催される

令和 2 年 8 月 21 日(金) 午後 6 時から、富丘西宮の沢会館において『令和 2 年度 富丘連合町内会総務部長会議』が開催されました。新型コロナウイルスによる影響で 各種行事が中止となっていたなか、手指消毒・全員マスク着用という これまでとは異なる雰囲気ではありましたが、17 名が出席し、地域の現状や課題などについて話し合いました。※欠席の町内会からは文書による報告あり。



総務部長会議 (8/21)

今年度は役員改選により新たに着任した総務部長も多く出席したことから、まず全員で自己紹介を行い、続いて 富丘連合町内会の久瀧洲一会长が「各町内会・自治会では、総務部長さんが主体的に運営されていることと思います。この難しい時期をどう乗り越えていくかご意見をいただきたい」と挨拶。富丘西宮の沢まちづくりセンターの山岸範生所長から、コロナ禍における手稲区の他の連合町内会の事業への取り組み状況について説明があったのち、意見交換へと移りました。

富丘東一町内会より「防災ヘルメットの耐用年数 6 年が経過した場合、各町内会はどうしているか」との質問があり、「耐用年数があることを知らない町内会も多いことから、市の指導どおり各町内会で更新するよう対応を考えていく」と事務局から回答がありました。また、「町内会で賞状を出す場合、表彰状か感謝状のどちらが適正か」との同町内会の問いに対しては、「市の要領では、部外者に贈呈は感謝状、組織内・部内者に対しては表彰状となっており、それを適用する」旨、事務局から説明がありました。次いで、各町内会・自治会における実施・中止・検討中の事業の報告がそれぞれなされました。課題として「近年 頻繁に出没している野生のキツネへの対応について、単町だけでなく連町としても市に対策を要望できないか」と富丘三樽別町内会から提案があり、その後、手稲区に要望したところ、河川管理の北海道との間で調整が行われて、9 月に三樽別川の河畔路に注意喚起の立看板が設置されました。「連合町内会主催の避難所運営訓練は中止となったが、“コロナ禍における避難所のあり方”を学ぶ機会は持てないものか」との同町内会からの要望に関しても、手稲区が作成した「避難行動判定フロー」のチラシを全町内会・自治会へ回覧することとし、9 月中に配付を済ませました。



秋季セーフティコール (9/18)

## 秋季セーフティコールを実施

令和2年9月18日(金) 午前7時45分から『交通安全市民総ぐるみ運動』の一環として、幹線道路などにおいて街頭啓発が実施されました。富丘連合町内会からも交通安全指導員および各町内会の関係役員等が参加し、ドライバーへの交通安全の呼びかけ、さらに登校中の子どもたちの見守りを行いました。皆さんお疲れさまでした。

※11月13日(金)に予定されていた冬季セーフティコールは中止となりました。

## 「不法投棄のないさわやかなまち並みづくり事業」の優秀団体が決まる

富丘西宮の沢まちづくり協議会(久瀧洲一会長)の令和2年度「不法投棄のないさわやかなまち並みづくり事業」において、優秀団体として次の町内会・自治会に表彰状および副賞としてレーキが授与されました。おめでとうございます。

優秀賞…富丘西一町内会、富丘東六町内会、追分町内会、市営宮の沢団地自治会。



街路花壇の整備～富丘西一町内会



富丘川の清掃～富丘東六町内会

【おくやみ】 平成24年度より富丘連合町内会の会計部長を務められ、会の発展に尽力してこられた吉岡徹様(富丘東一町内会・80歳)が、10月22日に逝去されました。慎んでお悔やみ申しあげますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

## 「富丘西宮の沢会館」の利用にかかる新型コロナウイルス予防対策について

広報『とみおか』第67号(令和2年7月31日発行)P.4掲載の会館利用に関するお願いについて、富丘西宮の沢会館運営委員会から追記、修正の通知がありましたのでお知らせします。

★利用人数の上限 ⇒ 右表をご参照ください。1階集会室を通して利用する場合の上限・人数は、各室の合計となります。

1F				2F	
集会室1	集会室2	集会室3	和室	会議室	和室
10人	15人	10人	3人	10人	7人

★その他一般的な留意点 ⇒ ①いわゆる「三密」にならないようお願いします。一時間ごとに10分程度換気願います。なるべく少人数で利用し、対人間隔は離しましょう。②原則、利用時も含めマスク着用をお願いします。ただし、マスク着用により十分な呼吸を行うことができないおそれがある場合は、対人距離を確保するなど工夫したうえで外して結構です。③手洗い、手指消毒をこまめに行うようお願いいたします。④体調がすぐれなかったり、過去二週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴があったりする方は、利用を見合わせましょう。⑤当会館利用の前にはご自身で検温のうえ、37.5度以上の方は利用を見合わせるようお願いします。

★利用停止の可能性 ⇒ 今後の感染状況によっては、急きょ利用停止になる可能性があります。

〈編集後記〉 世界的な新型コロナのワクチンや特効薬が望まれる中、未だ朗報の無い状況で、コロナ感染防止のための諸活動や行動自粛のみでは経済も地域活動も滞るだけで、元気のない世の中になっている気がします。これからは、コロナ禍であっても平常時に近い活動を行えるような知恵と工夫を發揮した新しい活動方法、生活行動様式(with コロナ)が必要になってきたのかなと感じるところです。

広報『とみおか』第68号は、地域活動の中からwith コロナの参考となるような活動の概要や防止対策について具体的に例示できればと考え、いくつかの活動を紹介させていただきました。情報を提供いただいた各町内会・自治会の皆さまに感謝するとともに、一日も早く平穏な日々が帰ってくることを祈念するばかりです。[H.T]